

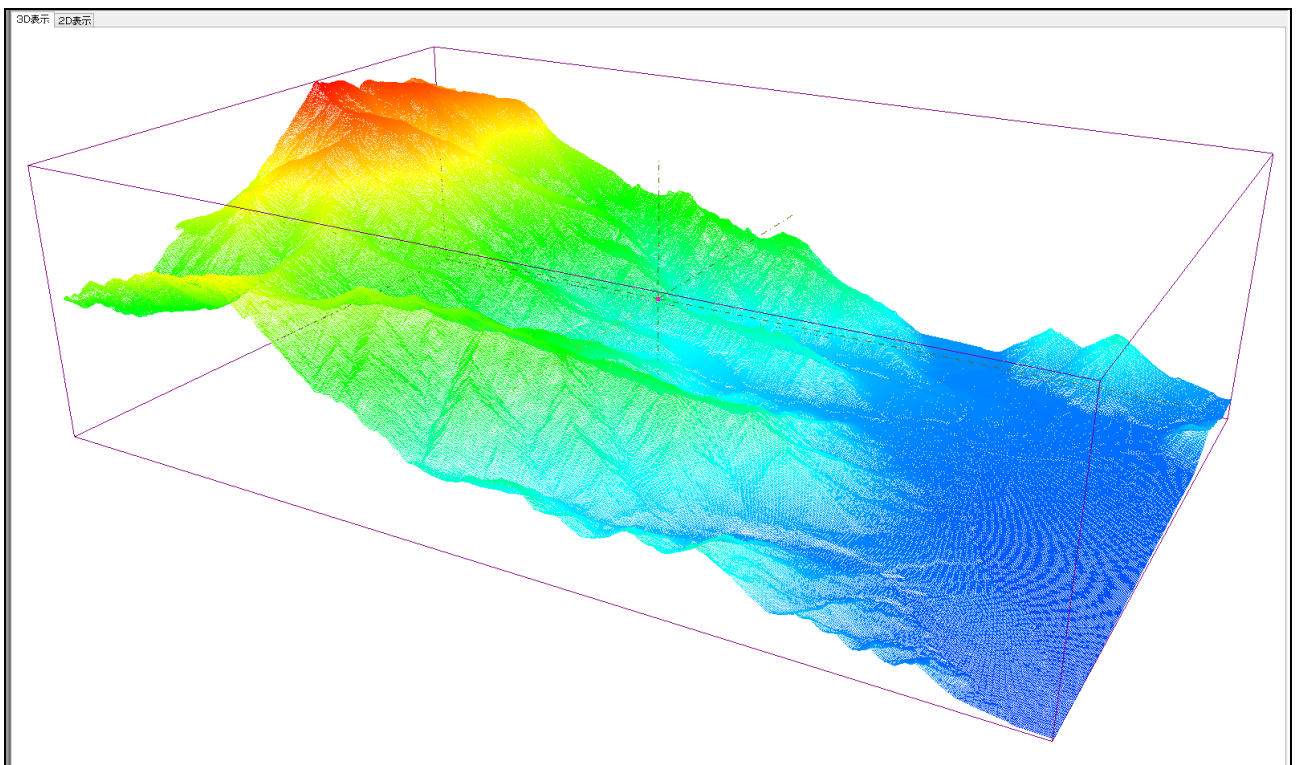
- 開く TIFF (標高)
- 開く TIFF (標高)1
- 開く TIFF (標高)2
- 開く TIFF (標高)3

目次

1. 機能	1
2. パネル	1
3. その他	4
4. 更新記録	4

1. 機能

標高値が記録されている TIFF ファイル(拡張子.tif)を開き、三次元のポイントとして表示します。

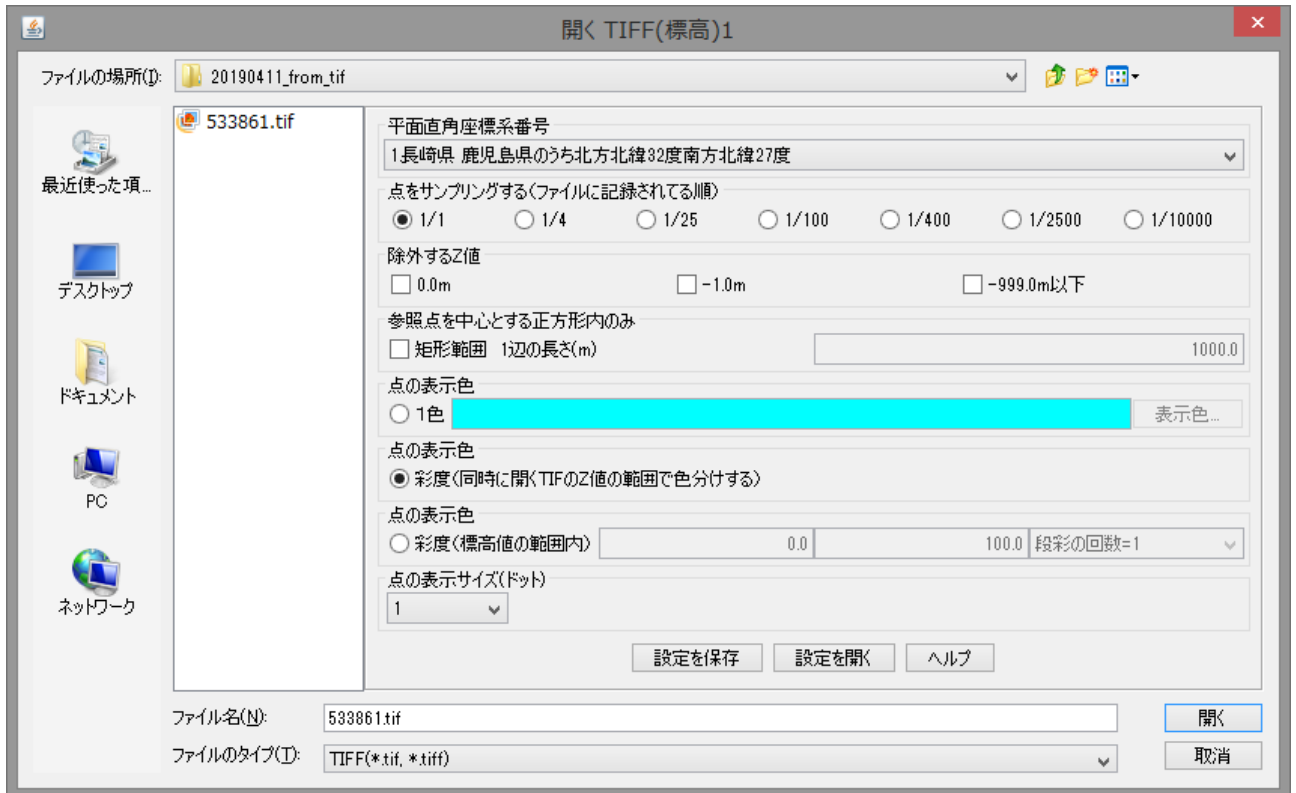


上図は、標高値で段彩表示した例です。

ワールドファイル等での位置は、平面直角座標系を想定しています。

2. パネル

画像のファイルを指定しないでください。



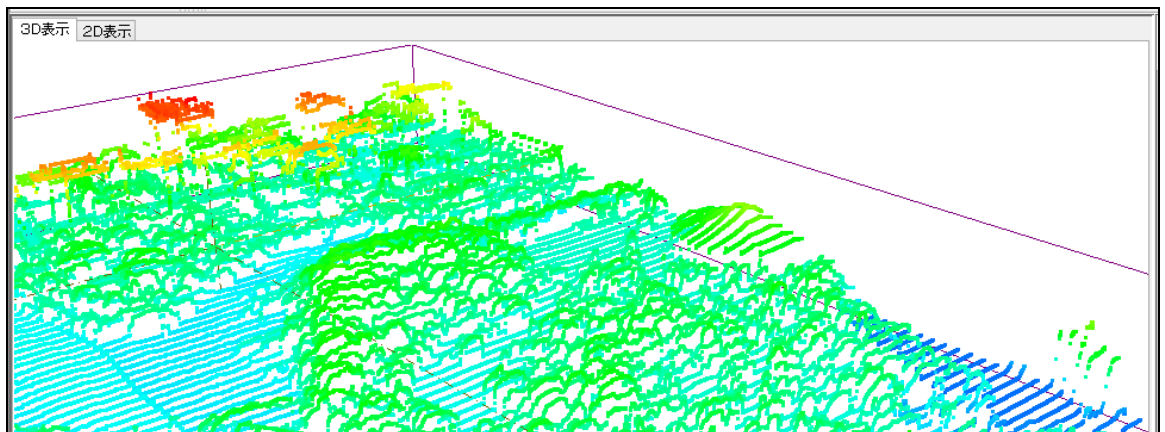
平面直角座標系番号

TIFF ファイルに記録されている位置情報が緯度経度の場合、平面直角座標系に変換して表示します。

TIFF の位置情報が、平面直角座標系の場合は、この指定は関係しません。

点をサンプリングする（ファイルに記録されている順）

ファイルに記録されているポイントをサンプリングして、数を減らし表示します。



上図は、1/100 でサンプリングした例です。

除外する Z 値

各ポイントの Z 値が、除外に指定した値の場合、表示しません。

参照点を中心とする正方形内のみ

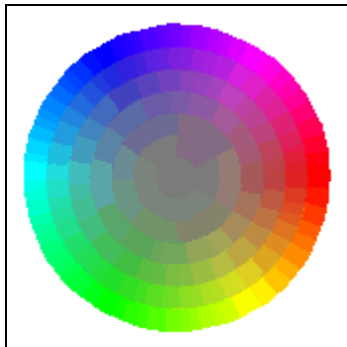
参照点を中心とする正方形内のある点のみを表示します。

1色

ポイントを全て同じ色で表示します。表示色は右側の「表示色」ボタンで設定できます。

彩度（同時に開くポイントのZ値の範囲で色分けする）

同時に開いた TIF ファイルの Z 値の範囲で、青から赤の色相で色分けして表示します。



上図はウィキペディア「<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%BD%A9%E5%BA%A6>」の彩度の図です。

青から緑、赤へ、反時計回りに色分けします。

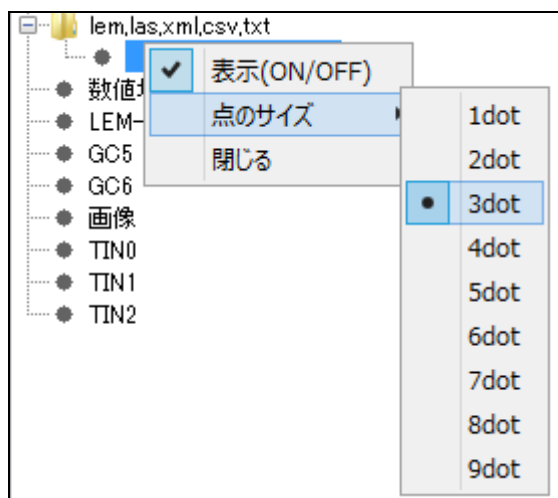
彩度（標高値の範囲内）

指定された標高値の範囲内について、青から緑、赤まで色分けします。範囲外の標高値のポイントはグレーで表示します。

点の表示サイズ(ドット)

ポイントの表示サイズを指定します。

開いた後で、変更できます。



3. その他

GeoTIFF ファイルからポイントのファイルへ変換

GeoTIFF から点ファイル作成

<http://www.geocoach.co.jp/help/ImageGeoTiff2PointFileDialog.pdf>

4. 更新記録

2019/03/19

✓このメニューを作成

2019/03/12

✓パネルに平面直角座標系の指定を追加。TIFF ファイルに記録されている位置情報が緯度経度の場合、平面著角座標系に変換して表示します。

